

平成30年度行政評価シート【個表】

平成 30 年 7 月 10 日

評価対象事業		評価者	スポーツ課長 江口 達也	
健福-58	実施事業	体育施設管理運営事業 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	主管課	スポーツ課
			関連課	
総合計画上の位置付け	分野	スポーツ・レクリエーション	施策の方針	市民スポーツ・レクリエーションの推進

1 事業の目的

対象	市民等
意図	市民等がスポーツ施設で気軽に楽しむことができるよう、スポーツ施設の適正な管理やスポーツに関する情報の発信を行うため。
効果	より多くの市民等がスポーツ施設の利用が行えるように図る。

2 平成29年度に実施した事業の概要

・市民の誰もが「いつでも」「どこからでも」スポーツ施設の予約や抽選、空き状況の確認ができるよう、神奈川県公共施設利用予約システムの適正な運用を行った。 ・市民が身近なところで、気軽に参加でき、また、自ら主体的にスポーツ・レクリエーションが行えるよう、場の提供を行った。 ・指定管理者制度により、スポーツ施設の効率的な管理運営を行った。又、平成30年度からの5年間の次期指定期間の指定管理者の指定を行なった。 ・PFI事業により整備した「こまねび山崎温水プール」のサービスをPFI事業者から購入して市民に提供した。
---

3 事業費等基礎データ

データ区分	28年度決算		29年度決算		データ区分	30年度当初予算		備考
	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数		人 口	世 帯 数	
人口等のデータ	176,869人	80,928世帯	176,466人	81,150世帯	176,308人	81,763世帯		・各年3月31日 (住民基本台帳)
事業の対象者数								
事業の対象者数								
運営資源状況	決算値(千円)	215,750	226,172	当初予算(千円)	245,046			
	国県支出金			国県支出金	3,737			
	地方債			地方債	11,400			
	その他	2,920	2,598	その他	4,988			
	一般財源	212,830	223,574	一般財源	224,921			
事業経費	人員配置数	3.1	2.2	人員配置数	1.0			
	人件費(千円)	23,605	18,104	人件費(千円)	7,914			
	総事業費(千円)	239,355	244,276	総事業費(千円)	252,960			
市民1人当りの経費(円)	1,353	1,384	市民1人当りの経費(円)	1,435				
対象者1人当りの経費(円)			対象者1人当りの経費(円)					

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効率性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥当性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	3. 廃止・休止による影響は大きくある
	今後も市が実施すべき事業か	5. 豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有効性	事業の成果は得られているか	2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	3. 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
公平性	受益者負担は公正・公平か	△.負担未導入 ○-1. 既に受益者負担を求めているが、今後、その額や対象等を再検討する必要がある
協働	市民等と協働して事業を展開しているか	△.協働未実施 協働実施済の場合のパートナー

事業内容の方向性	<input type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す → <input checked="" type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする <input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する <input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する →	見直しの種類	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他	見直しの内容	
	事業内容・予算規模の方向性設定の理由	事業の成果は概ね出ているので、事業内容、予算規模とも現状維持とし、更なる効果が得られるよう、手法の検討を行う。			

総評(評価に対する考え方、根拠等)	スポーツ・レクリエーション活動の場の提供や指定管理者制度を導入したスポーツ施設について、適切な維持修繕を実施しスポーツ施設の適正な管理、スポーツ施設予約システムの運用及びPFI事業により整備したこまねび山崎温水プールのサービス提供を図っていく。
-------------------	--

平成29年度事業実施にあたっての課題(前年度未解決の事項を含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・深沢多目的スポーツ広場は、深沢整備用地の暫定利用として平成30年3月末まで借り受けているが、代替施設の確保が急務。</li> <li>・施設利用者のニーズに対応した施設の充実。</li> <li>・海浜公園水泳プールは、公共施設再編計画で総合体育館に併設すると示されたため、総合体育館の検討の中で進めていく。</li> <li>・施設の老朽化への対応や照明のLED化等の更なる推進が必要。</li> <li>・鎌倉体育館など4館の次期指定管理者の選定をする。</li> </ul>	
課題解決のために行った平成29年度の取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ネーミングライツパートナーを通年で募集したが契約には至らなかった。</li> <li>・平成28年度に引き続き企業グラウンドを借用し市民大会の会場を確保した。</li> <li>・鎌倉海浜公園水泳プールは築62年が経過し、建物・設備ともに老朽化が進んでいるが、現状の施設を活用し、津波避難訓練や避難ルートの周知等を実施し、対策を講じながら運営を継続し、市民の利用に供した。</li> <li>・施設の老朽化対応修繕や照明のLED化は、予算の範囲内で着実に進めた。今後も引き続き同様の対応をしていく必要がある。</li> <li>・鎌倉体育館など4館の次期指定管理者を指定した。</li> </ul>	<input type="checkbox"/> 解決 <input checked="" type="checkbox"/> 一部解決 <input type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>・深沢多目的スポーツ広場は、深沢整備用地の暫定利用として平成31年3月末まで借り受けているが、代替施設の確保が急務。</li> <li>・施設利用者のニーズに対応した施設の充実。</li> <li>・海浜公園水泳プールは、公共施設再編計画で総合体育館に併設すると示されたため、総合体育館の検討の中で進めていく。</li> <li>・施設の老朽化への対応や照明のLED化等の更なる推進が必要。</li> <li>・鎌倉武道館は天井の耐震強度が既存不適合の状態であるため、平成30年度に設計、平成31年度に耐震改修工事を実施する予定である。工事期間中は同施設を休場とするため、市民大会や教室等の開催場所を他の施設に振り替える等の対応が必要である。</li> </ul>	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項	体育館の整備状況						
団体名	鎌倉市	平塚市	藤沢市	小田原市	茅ヶ崎市	逗子市	
他市実績	4	3	3	1	2	1	

比較事項	陸上競技場・野球場・屋外グラウンドの数						
団体名	鎌倉市	平塚市	藤沢市	小田原市	茅ヶ崎市	逗子市	
他市実績	2	6	6	11	9	2	

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	<p>本市の体育館は、規模が小さく(バスケットボールなどは同時に複数の試合を行うことができない)、老朽化が進んでいるが、指定管理者の民間のノウハウを活用しながら教室やイベントの開催などのソフト面のサービスを充実させ、市民の満足度を維持していく。屋外グラウンド等については、県内他市の平均と比較して整備数が少ないため、スポーツ団体は市民大会等の開催に苦慮している実情がある。新規に整備できるまでは民間企業が所有するグラウンドの借受などで補えるよう、情報収集に努めていく。</p>
----------------------	--

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	鎌倉海浜公園水泳プール利用者数	単位	人	指標の傾向	⇒	備考	
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31
スポーツ施設の利用者数を把握することにより、市民のスポーツ活動の状況を客観的に捉えるため。	目標値	35,000	35,000	35,000	35,000	35,000	35,000
	実績値	31,154	31,519	33,086	29,110		
	達成率	89.0%	90.1%	94.5%	83.2%		
指標の内容	こもれび温水プール利用者数	単位	人	指標の傾向	⇒	備考	
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31
スポーツ施設の利用者数を把握することにより、市民のスポーツ活動の状況を客観的に捉えるため。	目標値	250,000	250,000	250,000	250,000	250,000	250,000
	実績値	244,654	247,985	246,118	243,045		
	達成率	97.9%	99.2%	98.4%	97.2%		
指標の内容	指定管理スポーツ施設利用者数	単位	人	指標の傾向	⇒	備考	
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31
スポーツ施設の利用者数を把握することにより、市民のスポーツ活動の状況を客観的に捉えるため。	目標値	445,000	450,000	454,000	456,000	456,800	457,600
	実績値	451,957	391,953	427,533	456,592		
	達成率	0.0%	87.1%	94.2%	100.1%		
指標の内容	指定管理スポーツ施設利用率	単位	%	指標の傾向	⇒	備考	
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31
スポーツ施設の利用率を把握することにより、施設の充足状況を客観的に捉えるため。	目標値	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	実績値	92.0	82.9	89.0	88.2		
	達成率	0.0%	82.9%	89.0%	88.2%		